

# 復興に向けた取り組み

## Disaster Support

阪神・淡路大震災以降に培ってきた復旧・復興の経験を生かして、東日本大震災や熊本地震など、大規模災害からの復旧・復興を全力で推進しています。

〈基盤整備・住宅供給〉  
神戸市復興計画のシンボルプロジェクト

### ▶ HAT神戸



HAT神戸・灘の浜

神戸市の中心・三宮の東約2kmに位置する「HAT神戸（神戸市東部新都心地区）」は、震災以前から臨海部の大規模工場の遊休化などに対応した土地利用転換を図る総合的な整備エリアでしたが、震災後は「神戸市復興計画」のシンボルプロジェクトとして、良好な居住環境と多様な機能の調和を図ることとなりました。

URは、神戸市からの受託により、土地区画整備事業などの基盤整備を行うとともに、HAT神戸・灘の浜、脇の浜をはじめとする良好な住宅市街地整備などを行い、いち早い復興と生活再建に貢献しました。

〈市街地の再開発〉  
駅前の賑わいを創出する市民生活の拠点づくり

### ▶ ACTA西宮

商店や住宅が密集していた阪急西宮北口駅北東地区では、以前から再開発の動きがありましたが、実現に至らないまま、震災による被害を受けました。西宮市からの要請を受けたURは、約600名の権利者と話し合いを続けながら、駅前にふさわしい賑わいを持った安全で快適なまちを実現するために、市街地再開発事業によるまちづくりを行い、2001年に「ACTA西宮」が完成しました。



阪神大震災直後の現地の様子



ACTA西宮

〈津波被災地域における復興市街地整備事業〉  
パートナーシップ協定による包括的な復興まちづくり支援

### ▶ 宮城県女川町 女川中心部地区

URは復興まちづくりの担い手として、女川町とパートナーシップ協定を締結。女川中心部地区では、高台の造成や嵩上げをした地域に住宅地を集約して安全性を確保。低地部はJR女川駅の駅前広場とそこから女川湾に伸びる「レンガみち」を軸に商業・業務、交流施設、公共機能が集積するまちのシンボル空間となっています。



〈災害公営住宅整備事業〉  
伴走型のコミュニティ形成支援

### ▶ 宮城県塩竈市 市営錦町東住宅

塩竈市においては日本三景松島の一部である浦戸諸島を含め合計355戸の住宅をURが整備。また、各所の仮設住宅から集まってこられる入居者の方々の交流の場の設定やご入居後のコミュニティの形成についてなど市とともにURも企画・支援してきました。

写真は、URが整備しお引渡しした「市営錦町東住宅」の入居交流会。入居を心待ちにされていた皆さんを中心に地元の方々と市長（当時）とUR理事長。